

科目名	看護教育論			分野・必選別・単位数	共通科目	選択	2単位
担当教員	◎准教授 砂見 緩子					科目ナンバー	T2A101
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	この講義では、看護教育の本質について、教育心理学、社会心理学の視点から考察することを目的とする。講義および学生自身のプレゼンテーション内容に基づいてディスカッションをし、学修を深める。なお、講義内容およびスケジュールは、学生の希望と内容の進捗度により適宜修正する。						
授業の到達目標	看護教育の本質となる教育原理、諸概念について概説できる。 わが国の看護教育制度および看護教育課程の歴史の変遷について概説できる。 看護教育に関する問題を提起し、その問題に関連した文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	砂見 緩子	准教授	看護教育論概説 講義およびプレゼンテーションの進め方・方法・評価について説明できる。 看護教育に関連する用語の定義を整理し、説明できる。			
	2	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理①（プレゼンテーション） 「教える」「学ぶ」ことの意義について概説できる。			
	3	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理②（プレゼンテーション） 発達と教育について概説できる。			
	4	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理③（プレゼンテーション） 学習理論の教育への活用について概説できる。			
	5	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理④（プレゼンテーション） 動機づけ理論の教育への活用について概説できる。			
	6	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理⑤（プレゼンテーション） パーソナリティの理解と教育への活用について概説できる。			
	7	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理⑥（プレゼンテーション） 成人教育の定義、主な理論枠組を概説できる。			
	8	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理⑦（プレゼンテーション） おとなの学習者の特性を概説できる。			
	9	砂見 緩子	准教授	看護教育の本質となる教育原理⑧（プレゼンテーション） 教育者としての姿勢、役割を概説できる。			
	10	砂見 緩子	准教授	看護教育制度の変遷（プレゼンテーション） 看護基礎教育課程および看護継続教育課程の変遷を概説できる。			
	11	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究①（プレゼンテーション） 看護教育に関する問題（テーマ）を提起し、説明することができる。			
	12	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究②（プレゼンテーション） 研究論文・文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
	13	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究③（プレゼンテーション） 研究論文・文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
	14	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究④（プレゼンテーション） 研究論文・文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
	15	砂見 緩子	准教授	まとめ 講義を振り返り、習熟度を確認し、その評価を述べることができる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	授業内容に関連した疑問、課題等を説明できるように準備しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要となる。					
教科書	Billings, D. M., Halstead, J. A. (2012). Teaching in Nursing - a Guide for Faculty (4th ed) Saunders Elsevier. (奥宮暁子、小林美子、佐々木順子監訳。(2014). 看護を教授すること—大学教員のためのガイドブック 原著第4版、医歯薬出版株式会社) Cranton, P. A. (1992). Working with Adult Learners. (入江直子、豊田千代子、三輪建二訳。(2010). おとなの学びを拓く—自己決定と意識変容をめざして、鳳書房) 平尾真智子(1999). 資料にみる日本看護教育史. 看護の科学社 鎌原雅彦・竹綱誠一郎(2015). やさしい教育心理学 第4版. 有斐閣アルマ 森正義彦編(1986). 教育心理学要論. 有斐閣双書 田嶋一、中野新之祐、福田須美子、狩野浩二(2011). やさしい教育原理 新版補訂版. 有斐閣アルマ						
参考書	関連文献は随時提示する。						
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションの準備と実際80%、ディスカッション20%で評価する。						
その他履修上の注意事項	プレゼンテーションに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1およびDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						